

世界の主要拠点 (平成20年9月30日現在)

国内

本 社	横 浜						
営業拠点	仙 台	郡 山	八 王 子	松 本	大 宮 (さいたま)	太 田	東 関 東 (柏)
	名 古 屋	福 井	静 岡	浜 松	大 阪	京 都	岡 山
事 業 所	福 井		加 賀				



Sodick
株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111
FAX:045-943-5835
(証券コード:6143)



●このカタログはFSC森林認証紙と大豆インキを使用しています。

ホームページのご案内

<http://www.sodick.co.jp/>

株主の皆様からの声をお待ちしております。

当社では、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。
お気軽に下記のメールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス ir@sodick.co.jp



モバイルサイトのご案内

<http://www.sodick.co.jp/mobile>

展示会情報・サポート情報・ソディック製品にまつわる最新情報等を
随時更新しています。



第33期 第2四半期 (累計)
事業報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

Sodick

Business Report

株式会社 ソディック

Sodick Corporate Highlights 2008.4-2008.10

新製品

全世界、フリーマーケット・
フリーテリトリ制を導入！
「Cruise(クルーズ)シリーズ：C32モデル」

この度、世界初の試みとして、全世界、フリーマーケット・フリーテリトリ制を導入した、第5世代型新機種リニアモーター駆動高速形彫り放電加工機「Cruiseシリーズ：C32モデル」は、主にBRICs・VISTAなどの新興国をはじめ、全世界での金型づくり・部品加工における“世界の先導役”を担う目的で製品化にいたしました。新興国では、設備導入が容易で簡単な操作で高度な加工ができる放電加工機が求められており、多くの需要を見込んでおります。



新製品

加工性能を極め、
超微細・超精密領域での生産性を向上！
「リニアモーター駆動 超精密形彫り放電加工機 AP3L」

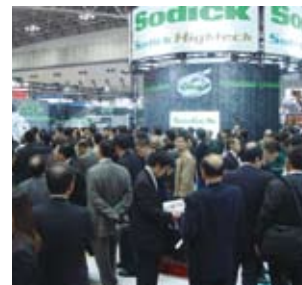
超精密・超微細領域加工においてご好評をいただいている、リニアモーター駆動 超精密形彫り放電加工機“APシリーズ”の新製品として「AP3L」をラインナップに加えました。新製品「AP3L」は、電子機器部品・車載部品・デジタル家電部品など微細・微小化する超高精度金型の加工精度、加工性能をさらに極めつつ、加工時間の短縮で生産性の向上を実現しています。また、環境対応型工作機械として、「省エネ・リサイクル/リユース・人に優しい・廃棄物削減・メンテナンスフリー」も実現しました。



展示会

IMTS、JIMTOFに出展

2年に1回9月に米国シカゴで行われるIMTS (International Machine Tool Show)、及び同じく2年に1回11月に東京ビッグサイトで行われるJIMTOF (Japan International Machine Tool Fair)に出展し、積極的に営業展開を行うとともに当社が持つ技術力をアピールいたしました。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

米国のサブプライムローン問題に端を発し、世界金融危機の深まりに伴う世界同時株安と急激な円高の進行と、日本経済が今や長期の大不況に陥る虞があることは報道などでご存知のところと思います。

このような状況下において、当社グループが今後この難局を乗り越えるためには、果敢な改革を実行する必要があると判断しました。いま当社グループはこの難局を乗り切るために、厳しい経営環境に対応できる体力、徹底的に無駄を省いた体制をつくり、市場の環境に左右されずに利益を出せる筋肉質な組織作りを進めている最中です。

また世界中に金融危機が広がっているとはいえ、BRICsやVISTAなどの新興国には成長路線を維持している国もあります。その成長している国や地域では当社の製品はまだまだ伸びしろがあると見ており、今後は積極的に展開していく予定です。ものづくりを通じて新興国の経済成長に貢献し、ともに成長することができれば、ものづくりの世界に係わるものとしてこれ以上のよこごびはありません。

株主の皆様をはじめとしたステークホルダーの皆様には大変なご心配をおかけしていることと思います。引き続き身を粉にして経営に努め、そしてソディックグループを安定成長基調にのせていくことで、皆様の期待にお応えする所存です。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 加藤和夫

CONTENTS

Sodick Corporate Highlights	1
株主の皆様へ	2
当第2四半期(累計)の業績	3-4
特集 ソディックの「世界中核拠点」タイ工場	5-6

第2四半期(累計)連結財務諸表(要旨)	7-8
株式情報/株式分布/会社概要/役員	9
株主メモ	10

当第2四半期(累計)の概況

当第2四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、米国のサブプライムローン問題を発端とした金融危機や素材価格の高騰、世界同時株安や急激な為替の変動に見舞われるなど景気は後退局面にありました。

当社グループの業績を左右する企業の設備投資においても景況感の悪化は影響が大きく、設備投資計画の縮小や再検討が行われ需要は減少しました。このような市場環境のもと、当社グループは国内の販売体制を再編し、研究開発においては新製品の開発を積極的に行い新たな需要の喚起に努めました。しかしながら、連結子会社の会計基準の変更による製品保証引当金の増加、在外子会社の会計処理の統一による費用の増加、円高の影響による為替差益の減少、財務体質強化の一環として締結したコミットメントライン契約によるアレンジメントフィーを全額一括で費用処理したこと、市況の想定以上の悪化により繰延税金資産を一部取り崩したことなどの諸要因が重なり、業績に大きな影響をあたえました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は309億17百万円となりました。利益面では、営業損失は3億96百万円、経常損失は5億54百万円、四半期純損失は19億87百万円となりました。

連結業績ハイライト



セグメント別概況

工作機械事業

国内においては金型関連の需要が依然として回復せず、中小企業の設備投資も低調であったことから需要は減少しました。海外市場においても金融不安の影響による景況感の悪化に伴い需要は減少傾向にあります。上記の結果、当事業の売上高は198億59百万円となりました。



その他の事業

大型ファインセラミックスの製造販売は液晶製造産業の設備投資が旺盛であり、受注状況は順調でした。精密金型・精密成形品の製造販売、金型生産統合システムの販売は減少傾向にありました。上記の結果、当事業の売上高は31億73百万円となりました。



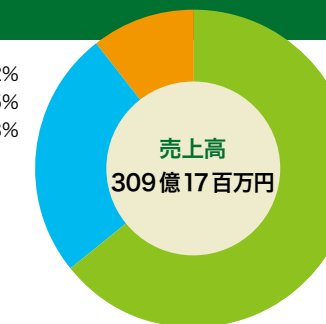
産業機械事業

小型精密射出成形機の販売においては、国内の主要な仕向け先である電子部品業界を始めとして、国内外ともに需要は弱含みで推移しました。液晶パネルの検査装置用の精密XYステージの販売においては、液晶製造関連業界の需要が順調に推移し、売上は前年同期比で増加しました。上記の結果、当事業の売上高は78億85百万円となりました。

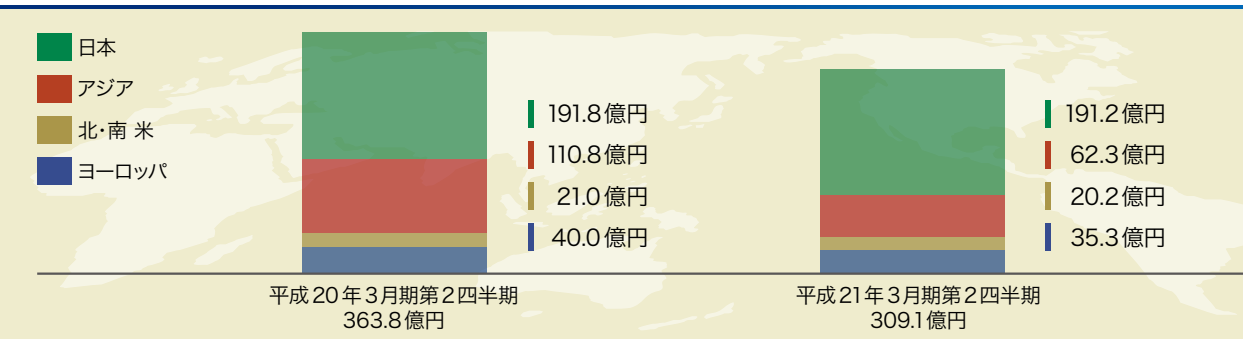


売上高構成比

- 工作機械事業 64.2%
- 産業機械事業 25.5%
- その他の事業 10.3%



所在地別売上高推移





ソディックの「世界中核拠点」 タイ工場 Sodick (Thailand) Co.,Ltd.

1988年に設立されたソディックグループの主力製造拠点です。
売れ筋の放電加工機を生み出し、世界各国の顧客にお届けしています。
今年度設立20年を迎え、さらなる躍進を目指すタイ工場をご紹介します。

世界有数の工業地帯に設立された 放電加工機の一貫工場

工場はタイの首都バンコクから北に50kmのナワナコン工業団地にあります。この工業団地は製造業に必要なインフラが十分に整っており、日系メーカー100社を含めた、約200社が進出しています。

タイ工場では、機械の鋳物加工から製品の最終検査はもちろんのこと、主要な基幹部品であるリニアモータ、プリント基板、セラミック部品なども生産する、文字通り放電加工機の一貫工場です。

また、三次元CADを駆使する設計部門やキサゲ技術者約50名を擁する精密組み立て部門を持ち、最新の技術と熟練のワザで高精度、高品質を達成しています。



1988年、社運を懸けた海外進出 世界一のコスト競争力を狙う

タイに生産拠点と一緒に開発拠点を設けた背景には、1985年のプラザ合意に端を発する急激な円高が背景にありました。超円高から逃れるため、当時、欧米市場を中心に輸出比率が30%前後にまで上昇していた当社はこの円高で大きな為替差損を被ることになりました。当時、大手に比して規模が小さかった当社にとって、海外進出は社運を懸けた一大プロジェクトでした。議論の末、タイへの工場進出を決めたのが1988年のことでした。じっくりと仕事に取り組む日本人と似た価値観がタイ人にもあり、日系メーカーの戦力として働ける素地を備えていることがタイ進出を決定する後押しにもなりました。結果的にこの決定が、急激な円高による為替のリスクを避け、世界一のコスト競争力を狙える基礎を築くこととなりました。

ソディック・タイランドでの第1世代機は、1990年に発売した廉価版のワイヤ放電加工機「A280」でした。タイで設けたばかりの生産ラインや設備でも造れるように、組み立てや加工のしやすさを考慮し、日本で開発設計をしたものでした。

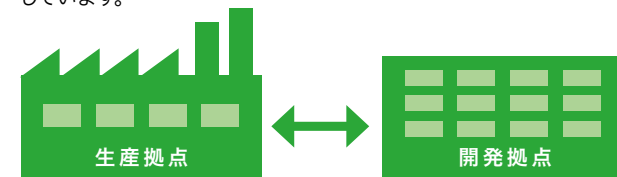
タイで初めて造られた
ワイヤ放電加工機「A280」



生産を考えた開発を 生産拠点と開発拠点の一体化

ソディック・タイランドは、安定運営するためのラインアップの増加が必要不可欠になり、第2世代機からタイが主体になって、開発設計を開始しました。優れた製品を造るためには、開発拠点が生産に関する情報をきちんと把握していることが重要で、売上の多くをタイで生産する当社では、世界中の顧客からの情報がタイ工場に入ります。顧客の要望に耳を傾け、それに応える技術を用意する、必要な技術が世の中になければ自社で開発し、内製して提供する、こうした創業以来の姿勢がタイ工場でも受け継がれ強みとなっています。

また、社員のモチベーションを高く保ち、人材を育てるため仕事を任せるという風土も根付いています。タイ工場が開発設計の責任と権限を与え、自ら図面を描かせ、自ら造ることで社員のモチベーションは高まります。これが、タイ人技術者のスキルアップに大きく貢献しています。



生産拠点と開発拠点が近くにあるメリット

- 生産拠点に入ってくる顧客からの情報を開発拠点が直接吸収できる
- 生産現場で生まれた改善提案を開発設計に素早くフィードバックできる
- 開発拠点が生産拠点（工程、設備、部品、材料、加工方法などの情報）を正確に早く把握できる
- 設計変更や各種テストのスピードが早い

四半期連結貸借対照表

科目	期別	
	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成20年3月31日現在	当第2四半期 会計期間末 平成20年9月30日現在
資産の部		
流動資産	70,464	63,786
現金及び預金	19,974	15,870
受取手形及び売掛金	26,395	23,074
商品及び製品	6,447	7,837
仕掛品	7,162	7,601
原材料及び貯蔵品	6,879	7,063
その他	4,339	3,291
貸倒引当金	△734	△952
固定資産	33,502	35,880
有形固定資産	27,155	27,553
無形固定資産	2,255	2,076
投資その他の資産	4,092	6,250
その他	4,577	6,736
貸倒引当金	△484	△486
資産合計	103,967	99,667

科目	期別	
	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成20年3月31日現在	当第2四半期 会計期間末 平成20年9月30日現在
負債の部		
流動負債	47,785	45,862
支払手形及び買掛金	15,068	13,160
短期借入金	19,234	20,277
1年内返済予定の長期借入金	3,516	2,502
未払法人税等	723	557
引当金	1,067	999
その他	8,175	8,365
固定負債	13,433	15,053
社債	3,560	2,850
長期借入金	7,605	9,823
引当金	1,187	1,233
その他	1,080	1,146
負債合計	61,219	60,916
純資産の部		
株主資本	37,984	34,316
資本金	20,775	20,775
資本剰余金	6,949	6,949
利益剰余金	11,230	8,726
自己株式	△971	△2,135
評価・換算差額等	16	△340
新株予約権	42	67
少数株主持分	4,704	4,706
純資産合計	42,748	38,750
負債純資産合計	103,967	99,667

四半期連結損益計算書

科目	期別	
	前中間会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当第2四半期累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	36,380	30,917
売上原価	25,168	22,195
売上総利益	11,212	8,721
販売費及び一般管理費	8,841	9,126
営業利益(△損失)	2,381	△396
営業外収益	1,195	561
営業外費用	424	720
経常利益(△損失)	3,152	△554
特別利益	176	159
特別損失	171	262
税金等調整前四半期純利益(△純損失)	3,157	△657
法人税等	1,342	1,279
少数株主利益	275	51
四半期純利益(△純損失)	1,538	△1,987

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	
	前中間会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当第2四半期累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,548	565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,167	△5,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,875	△75
現金及び現金同等物に係る換算差額	149	84
現金及び現金同等物の増減額	△593	△4,489
現金及び現金同等物の期首残高	21,164	19,781
新規連結子会社の現金及び 現金同等物の期首残高	250	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,820	15,292

株式情報 (平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,432,510株
株主数	17,214人

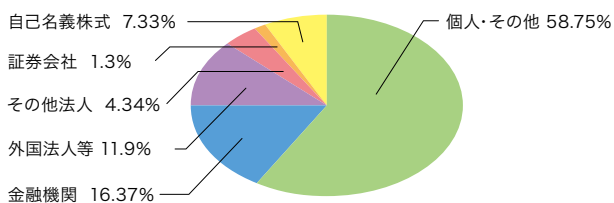
大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	3,918,890	7.33
古川 利彦	2,245,975	4.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,618,000	3.02
ノザンストラクパニーエイブイエフシーサブアカウンタメリカンクライアント	1,329,300	2.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	878,700	1.64
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	728,600	1.36
バンクオブニューヨークヨーロッパリミテッド131705	710,000	1.32
鈴木 正昭	707,760	1.32
株式会社北陸銀行	700,000	1.31

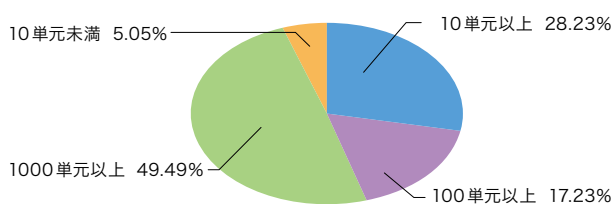
会社概要 (平成20年9月30日現在)

会社名	株式会社ソディック
所在地	本社 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 〒224-8522 TEL:045-942-3111(代表)
設立	昭和51年8月3日
資本金	207億7,575万6,958円
代表者	加藤 和夫
従業員数	203人(連結3,723人)
連結子会社	36社
営業品目	NC形彫り放電加工機/NCワイヤ放電加工機/NC細穴放電加工機/ 特殊放電加工機および専用機(パレットチェンジャ、ロボットなど)/ 数値制御電源装置/放電加工機専用治具/NC電極加工機/ ハイスピードミーリングセンタ/ナノ加工機/ 金型設計製作用CAD/CAMシステム/精密射出成形機/工業用セラミック/ 精密ニアプレスセンタ/産業機械向けリニアモータ/その他電気加工装置/ 電子部材/各種ソフトウェア/委託研究および製品開発/食品機械/その他

所有者別株式分布状況 (平成20年9月30日現在)



所有株式数別株式分布状況 (平成20年9月30日現在)



役員 (平成20年9月30日現在)

取締役会長	塩田 成夫
代表取締役社長	加藤 和夫
取締役副社長(生産統括担当)	山本 孝志
常務取締役(管理担当兼知的財産担当)	藤原 克英
常務取締役(研究開発担当)	金子 雄二
取締役(営業本部 本部長)	表田 俊二
取締役(海外生産担当)	藤田 猛夫
取締役(営業技術本部 本部長)	小林 繁
取締役(総合企画本部 本部長)	古川 健一
常勤監査役	楠 左衛治
常勤監査役	上野 朔生
監査役	小山 秋吉
監査役	大木 國男
監査役	下山 和人

※監査役のうち、小山秋吉、大木國男及び下山和人は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 (下記ご注意ください)

【株式に関する手続き用紙のご請求について】
株式に関する手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、**株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。**
TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sodick.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】株主名簿管理人の「取次所」の定めについて
株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」に関するご委託会社各社の株式取扱規則(規定)の定めは、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。また、野村證券株式会社は、株券電子化実施後、当社株式につき、株主名簿管理人および特別口座管理機関としての取次業務を致しませんのでご注意ください。

【平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ】

1. 特別口座について

(1) 特別口座への口座残高の記載
株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月上旬頃にお届けのご住所宛にお送りする予定です。

(2) 特別口座に記録された株式に関するお手続き
特別口座に記録された株式に関するお手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取(買増)請求・お届住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問合わせください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、**三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。**

(3) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期
特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取(買増)請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取請求・買増請求のご請求について
株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求ならびに買増請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

- (1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求**
①単元未満株式買取請求
平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。
②単元未満株式買増請求
平成20年12月12日(金)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。
- (2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求**
株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社でお取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について
株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に変換のうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りの通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

<ご参考>株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A(<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>)等をご参照ください。また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、「株券電子化」なんでも相談窓口(「株券電子化コールセンター(※)」TEL 0120-77-0915(通話料無料。平日・土曜/9:00~17:00)までお問い合わせください。(※)株券電子化コールセンターは、(株)証券保管振替機構、日本証券業協会、(株)東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。